

# Techno Report

№150

## 「空気圧縮機ドレン処理」の事例紹介

機械油を使用している空気圧縮機のドレン水には油分が含まれております。その濃度は法規制値(5mg/ℓ:濃度は自治体によって異なります)を超えていますので、油分除去の処理が必要です。このドレン水の処理には、特殊フィルター方式やマイクロバブルによる油水分離方式等、各機器メーカーが特色ある処理装置を提供しており、これを導入することで環境への悪影響を防止することができます。今回は、吸着材エレメント式処理装置の事例をご紹介します。本製品は2機種ともドレンを空気圧で圧送しますので電源は不要です。



グリストラップで処置していました。



**ドレン原水** 470mg/L(ppm) 放流不可  
**処理水** 5mg/L(ppm)以下 放流可能

処理装置の導入により、法規制値内で排水できます。

吸着材エレメントは定期的に交換が必要です。廃棄エレメントはメーカーで処理されます。

発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-361-3686

太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉支店 TEL 049-279-3011 問合せ先:技術部/瀬間、発行委員会

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp>

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させていただきますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。